



学校教育目標 社会に貢献しながら、
自立する生徒の育成
～気づき、考え、実行する～

やまゆり

校訓 「和の心」

指導重点

- ① 居心地がよく、やる気のある
学級集団・学校づくり
- ② 確かな学力の育成
- ③ 健やかな身体の育成
- ④ 豊かな心の育成
- ⑤ 生徒の良さを伸ばし、課題を
解決するための「連携・協働」を推進する



決意新たに



充実した3学期にしよう

やや時期を逸しましたが、あらためてご挨拶申し上げます。新年、明けましておめでとうございます。本年もよろしくお祈りいたします。

さて、冬休みも終わり、9日(木)より3学期が始まりました。3学期の登校日は、1年生と2年生は50日間、3年生は42日間です。3学期は1・2学期と比べると、短いですが重要な学期です。

これまでの反省に立ち、新年(3学期)の具体的な目標を立ててください。何事も自分の役割に責任を持ち、最後までやり遂げることが大切です。令和7(2025)年も、様々な場面での活躍が楽しみです。先生方も決意を新たに、生徒とともに全力で頑張っていきます。

1・2年生は、1年間のまとめの学期です。新生徒会等を中心に、3年生に贈る会が企画されます。それらの活動を通して“これからは、私たちが学校の中心となって、素晴らしい道志中を創っていくぞ”という決意を固めていく時期です。

その一方、3年生は、中学校生活を終えて卒業を迎え、それと同時に進路決定(高校入試)という大きな試



練を経験する時期です。また、3年間の学習の成果として、義務教育のまとめとして、卒業証書授与式があります。立派に迎えられるように過ごしてください。

このように、どの学年にとっても、とても重要な学期といえます。例年、これからが風邪や感染症の流行する季節です。健康には、細心の注意をお願いします。

夢(志)を叶えるために…

小学校低学年ぐらいまでなら、「将来、何になりたいですか?」との質問に「プロ野球の選手」と答えても不思議ではありませんし、かつて私の娘は「(浅田)真央

ちゃんみたいなフィギアスケートの選手」と答えていました。“微笑ましくていいな”と思いました。

ところが、同じ質問を中学生にした場合、どう答えるでしょうか。

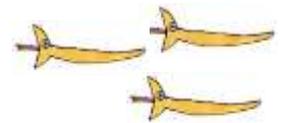
かつて、無邪気に答えていた中学生は、なかなか同じようには答えられないでしょう。例えば、プロスポーツの選手となると、並大抵の努力や才能では、厳しいということを知るからです。

また、中学生ぐらいになると、“真面目に夢(志)を語れない”という気分も出てきます。本当は、心のどこかで、将来の夢(志)を抱くのですが、それに自信が持てなくなるのではないのでしょうか。

中学生が「今はない…」「別に…」と答えたくなくなる気持ちも分かる気がします。

先日、私は、かつての教え子の同窓会に招待されました。15年ぶりの再会でしたが、30歳となり、それぞれの人生を歩んでいました。とても懐かしく、楽しいひとときを過ごすことができました。「今、〇〇を頑張っています」「これから◇◇になります」と、仕事や私生活について、語ってくれました。中学を卒業して、多くのことを学びながら歩んできたこの30年。30歳という年齢は、人生の節目のひとつであり、あらゆる場面での責任が大きくなり、新たなライフステージの始まりの時です。私は“自分の選択を信じて頑張れ”とエールを贈りました。

私たち多くの大人は、平凡な生活をしています。



この平凡な生活を維持することすら難しい状況があります。こんな時代だからこそ、家庭でも夢(志)を語り合い、時には厳しい試練もあることを、人生の先輩として教えてあげてください。そして、たとえ平凡でも“胸を張って、堂々と生きていく人生が大切だ”ということも教えていただきたいと思います。“夢は見るものではなく、叶えるものだ”といいます。その夢(志)を叶えるためにも“いま、この時を大切に”生活していきましょう。

それから、何といたっても、私たちの中学校は、“道志(道を志す)”中学校です!